

5月22日

高梁市総合計画の策定について

高梁市の中長期的、総合的な計画については、平成22年に「高梁市新総合計画」が策定され、「ひと・まち・自然にやさしい高梁」を目標に様々な施策を展開してきました。

しかし、人口減少・少子高齢化は進み、平成30年7月豪雨災害からの復旧復興、第4次産業革命ともいわれる産業構造の変化、多文化共生社会の到来など、高梁市を取り巻く環境の変化により解決すべき問題や課題も多岐に及んでいます。

そのためこれまででの計画の検証を踏まえ、新たな総合計画が令和2年度中に策定されます。

第2次高梁市地域公共交通網形成計画について

平成24年末から休業中となっていた「朝霧温泉ゆ・ら・ら」は、令和元年12月から施設の売却先の募集を開始した結果、応募が2者からあり、審査の結果株式会社エヌディエスに優先交渉権が与えられることとなりました。

平成27年に高梁市地域公共交通網形成計画（第1次計画）が策定され、さらに平成28年の高梁市地域公共交通再編実施計画により交通再編が行われてきました。しかし、人口減少、運転免許証保有率の上昇など公共交通の利用者の減少、公共交通関連支出の増大による計画の見直しが必要の課題であることから第2次高梁市地域公共交通網形成計画が策定されました。

7月9日

高梁認定こども園の整備について

就学前児童数の減少に併せ、幼稚園を希望する保護者も減っています。また、乳児保育ニーズ、市街地の施設の老朽化が課題となっています。整備のコンセプトとしては「夢が広がるこども園（子どもとともに）なことができるこども園」（案）、建設予定地として市街地の2カ所が示されました。

質疑応答では、市民とのワークショップを通じてコンセプトを建設に生かしていくこと、既に市が所有している土地やその周辺地域も候補地と成りうるとの答弁がありました。

消防庁舎の整備について

現在の消防庁舎は、著しい老朽化、手狭な執務・車庫・訓練スペースや女性用施設等が未整備のため、新しい消防庁舎整備の検討が進められてきました。

6月30日、第1回高梁市消防調査整備検討委員会が開催され、川端町内の民有地が候補地として決定したとの報告がありました。質疑応答では、消防力の観点から、市街地に整備する必要性があること、候補地が土砂災害警戒区域に含まれてはいるが、災害にも対応した施設整備を行うとの答弁がありました。

高梁市議会のICT化を進めています

議会ICT化推進特別委員会活動報告

議会ICT化推進特別委員会は、議会のICT（インターネット・コミュニケーション・テクノロジー）化の調査研究を目的として設置されて以来、委員間の協議や、先進事例導入団体への視察研修、会議システム研修会への参加などにより調査研究を進めてきました。

現在導入を進めているグループウェアは、議会内の情報伝達、情報共有を高め、議会活動の効率化・迅速化及び活性化に寄与するツールです。今回試行した「LINE WORKS（以下ラインワークス）」は、チャット、電子メール、電子掲示板、電子回覧板、ライブ러리、カレンダーなどに統合されたビジネス用チャットツールです。

令和2年2月以降、議会ICT化推進特別委員会の委員6名で、個人所有のスマートフォンに「ラインワークス」をインストールし、議会事務局からの通知・連絡、委員間の連絡などをペーパーレスで行い、ソフトウェアの操作性や利用環境等を確認しました。試行した結果が良好であったため、その後は議会全体で「ラインワークス」の活用を行うことになりました。



©LINE Corporation

電子会議システムについては、導入により、議会運営の効率化と迅速化が図られ、コピーや製本などの事務作業を軽減する効果がありますが、スケールメリットを出すためには、執行部とともに進めていく必要があります。このシステムを活用するためには、議員個々のICT機器操作技術の向上も不可欠で

あることから、委員会内でシステム選定や議員研修方法等を引き続き協議していくことにしています。

6月議会からは、議案や資料等を電子媒体で配布することや、それらを閲覧したり、メモや書き込みをするために、議場や委員会室へ各議員所有のパソコンなどのデバイスの持ち込みを認めることとし、キーボードなどでの入力作業等を有志議員で試行しました。

今後、グループウェアについては、ソフトウェアの操作性、利用環境、個々の議員の活用具合を確認して選定作業を行い、電子会議システム、さらに、インターネットの通信環境の整備についても引き続き調査・研究を進めていきます。

閉会中の所管事務調査 市民生活委員会

4月27日に市民生活委員会が所管事務調査を実施しました。所管事務調査とは、所管する事項の調査を行うことにより委員会活動の充実を図り市政に反映させるために行うものです。

新型コロナウイルス感染症対策の対応について対応状況の詳細な説明を受け、質疑応答を行いました。

- 補正予算で購入したマスクなどの資材の活用状況
- 市内保育園における対応状況
- 学童保育の状況
- 微酸性次亜塩素酸水の活用



微酸性次亜塩素酸水生成装置

閉会中の所管事務調査 産業経済委員会

7月2日、産業経済委員会は指定管理施設（高梁市サイクリングターミナル『神原荘』）の管理状況の調査を行いました。

この施設は、一般社団法人高梁市観光協会が指定管理者として運営し、観光や合宿などで利用されています。6月議会の産業経済委員会委員から調査の提案があったことから執行部に説明を求めました。

担当の産業経済部観光課から、豪雨災害や新型コロナウイルス感染症の影響があり、昨年度と一昨年度は赤字であり、利用者の回復が見込めない食堂部門は休止しているとの説明がありました。これに対して委員からは、市は指定管理者に任せるだけでなく、状況を十分把握しコンサルを取り必要な指導や支援を行うべきではないかとの意見が出されました。

